

01 チェアマン挨拶

東京都CIO 副知事 宮坂 学

02 事務局報告

* GovTech東京について

* CIOフォーラムについて

* 都からの事業報告

03 区市町村DX事例のご紹介
中央区、あきる野市、瑞穂町

04 国からの情報共有

総務省自治行政局地域情報化企画室長 小牧 兼太郎 氏

05 連絡事項

瑞穂町

令和4年度デジタル推進系の業務実績

令和4年4月1日、企画課で所管していた行政のデジタル化の推進及び総務課で所管していた電算業務を統合しデジタル推進係が設置されました。また、秘書広報課に設置されていた広報広聴係と2係で構成されるデジタル推進課も設置されました。

デジタル推進課は課長1名、デジタル推進係3名、広報広聴係3名、計7名で構成されています。

事務分掌抜粋

デジタル推進係

- (1) デジタル化の推進に関すること。
- (2) 情報システムの総合的企画及び調整に関すること。
- (3) 情報システムの導入及び管理運営に関すること。
- (4) 情報セキュリティに関すること。
- (5) 電算室の管理運営に関すること。
- (6) 共同電算に関すること。
- (7) 個人番号カードの活用に関すること。
- (8) 課内の庶務に関すること。



1. 瑞穂町におけるDX推進方針の策定
2. 職員向け階層別研修（管理職向け研修及び一般職員向け研修）
3. DXに係るアンケート（住民、事業者、町職員）
4. DX推進に向けた各係の現状調査・ヒアリング及び業務フロー構築支援
5. マイナポイント関連支援業務
6. 第二期都区市町村情報セキュリティクラウドへの移行
7. コンビニ交付に向けたLGWAN回線の増速
8. ローコードツールの導入
9. マイナポータル（ぴったりサービス）への対応
10. AI議事録システムのトライアル
11. スキャナーのトライアル
12. テレワークに向けた検証
13. 業務量調査のプレ実施
- 14. セキュリティポリシーの見直し**

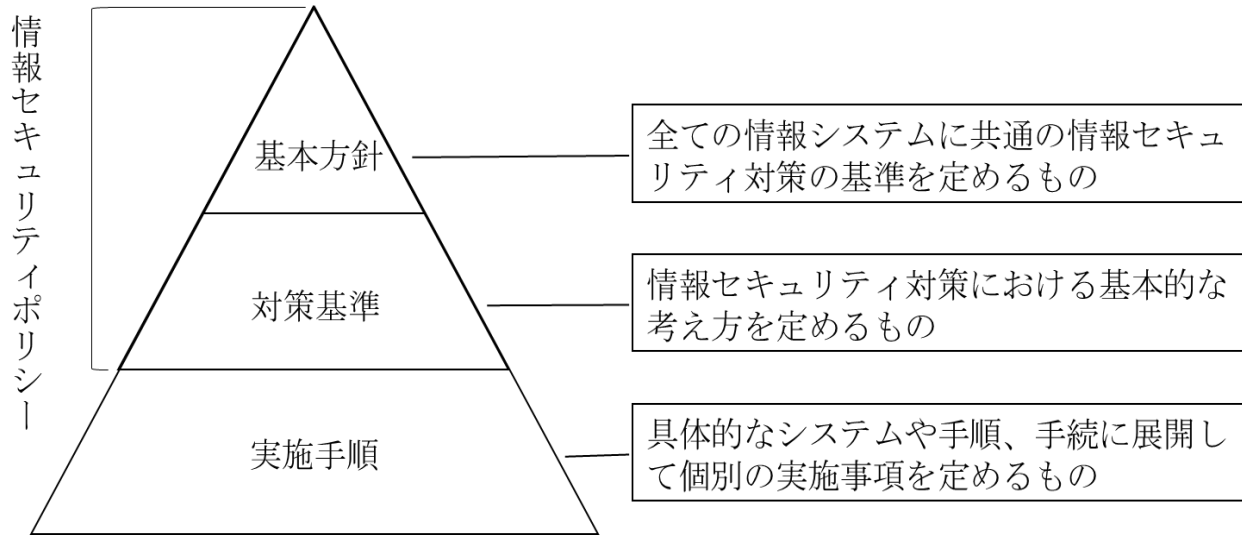
東京都からのデジタル人材の支援

東京都からデジタルシフト推進担当課長に、内部の打合せ、DX推進支援業務委託業者との打合せ等に参加していただき、国からの情報や他自治体の実例など多くの助言をいただきました。また、セキュリティ担当課長からセキュリティポリシーの見直しに際し、多大なご協力をいただきました。

国のガイドラインと町のセキュリティポリシーの内容に一定の乖離が生じていたので改定が必要となっていました（3層分離の強化、見直し、CSIRTの設置や外部サービス利用要件の追加等）。また、複数の規則に関連する内容が分散されていたので統廃合し、瑞穂町セキュリティポリシーの見直しを実施しました。

改定作業を進める中で、東京都のセキュリティ担当課長から助言をいただき、単に国のガイドラインを転記したような内容にはならず、町の実状に合わせたセキュリティポリシーの見直しができました。令和4年度には基本方針、対策基準まで作成が完了し、令和5年度以降実施手順を作成します。

また、東京都のセキュリティ担当課長に、インシデント発生時の研修をしていただきました。事例を題材にして、身近に危険性があることを職員が認識することができました。



① 委託先事業者に関連した情報漏えい

インシデント事例

○概要

令和4年6月に委託先会社の再々委託先の社員が全市民情報が入ったUSBメモリーを紛失した。

○主な原因

- ・委託先会社が外部へのデータ持出しにおける具体的な運搬方法等について市の許可を得ていなかったこと
- ・作業終了後に速やかにデータを削除せず、個人情報をもったまま飲食店に立ち寄ったこと
- ・委託先への十分なセキュリティ対策の確認・徹底不足

○課題

委託先のセキュリティ対策管理の徹底

② ランサムウェアの感染

インシデント事例

○概要

令和3年10月に病院の端末がランサムウェアに感染。電子カルテシステムなどのシステムが停止し、緊急・新規患者の受け入れが停止した。

※病院については、所管である厚生労働省策定の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に基づいてセキュリティ対策が実施されており、本事案の対応についても、厚生労働省が行っている。

○主な原因

- ・セキュリティを考慮したシステムの構築・運用を実施していなかったこと
- ・インターネット接続機器等の脆弱性の放置、アップデートの未適用、サポート終了OSを利用していたこと
- ・ウイルス対策ソフトを停止してシステムを利用していたこと

○課題

病院、サポートベンダ両者の適切なセキュリティ対策を行っていなかったこと

③ マルウェア「Emotet」の感染再拡大

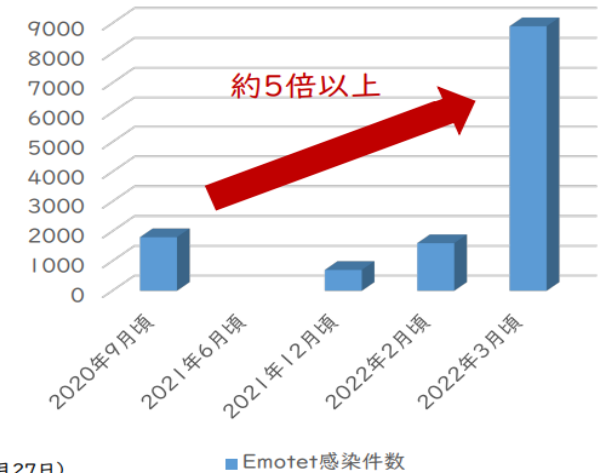
Emotetについて

○概要

Emotetは、悪意のある攻撃者によって送られる不正なメールから感染が拡大しているマルウェア。令和4年3月に入り、Emotet感染件数が令和2年の感染ピーク時の約5倍以上に急増している。

○特徴

- ・メールの添付ファイル（ExcelやWord）やこれらを含むパスワード付ZIPファイルの実行で感染
- ・メール本文中のリンクをクリックすることで感染
- ・なりすまし元の組織名や署名などが記載されるケースも存在



(参考) JPCERTCC, マルウェアEmotetの感染再拡大に関する注意喚起, 令和4年5月27日
<https://www.jpccert.or.jp/at/2022/at220006.html>

＜情報セキュリティポリシーを改訂するに至った経緯＞
近年、情報セキュリティの脅威は増しつつある。
その対応の重要性が増している。

庁内の課題

人的リソースおよび担当者の心理的抵抗、マインド醸成面の課題があった。(以下詳細)

- 業務繁忙もあり、改訂作業に着手できずいた課の新設もあり、重要だと認識しつつも少しずつ後回しになっていた。
- 担当が1名でかつ兼務という状況で、高い専門知識を求められるため担当としては不安があった。

セキュリティポリシーという町の重要な規程を作成するというプレッシャーがあった。

- 情報セキュリティに関する庁内の意識づけについても、勉強会の必要性を感じつつも実施に至っていなかった。

情報セキュリティの脅威（外的な脅威）

近年、情報セキュリティの脅威は増しつつある。その対応の重要性が増している。

<脅威> 委託業者のずさんな管理体制、ランサムウェア感染、マルウェア感染拡大

情報セキュリティのマインド醸成および組織体制の見直し、セキュリティポリシーの見直しを実施

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
イベント	★初回打合せ			★勉強会			★セキュリティポリシーレビュー（1回目）	
							★セキュリティポリシーレビュー（2回目）	
瑞穂町	セキュリティポリシーに関する課題共有	勉強会の要望取り纏め		セキュリティポリシー初稿作成		修正		庁内確認
東京都		支援計画作成・勉強会準備						

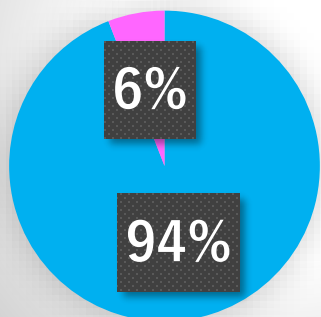
情報セキュリティ勉強会の実施（マインドセット）

対象者：DX推進部門および現場職員（20名）

実施概要（2022年10月31日）

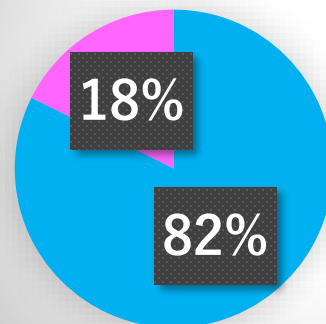
- はじめに（情報資産と脅威・脆弱性の関係）
- 最新のセキュリティトレンド（「情報セキュリティ10大脅威 2022」）
- 宇治市セキュリティ事故から学ぶ（宇治市住民基本台帳データ大量漏洩事件控訴審判決）
- 情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）基礎

瑞穂町サイバーセキュリティ 研修アンケート結果（1）

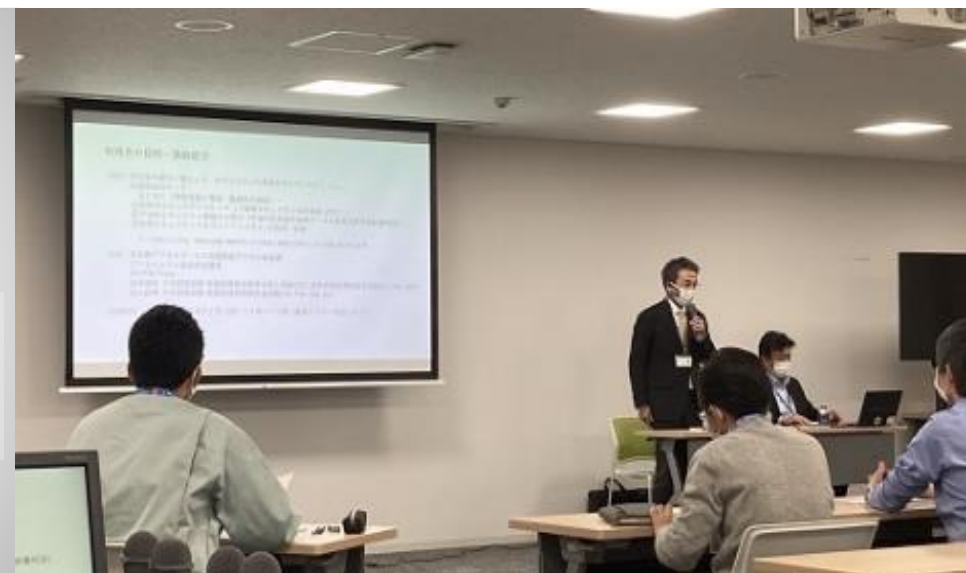


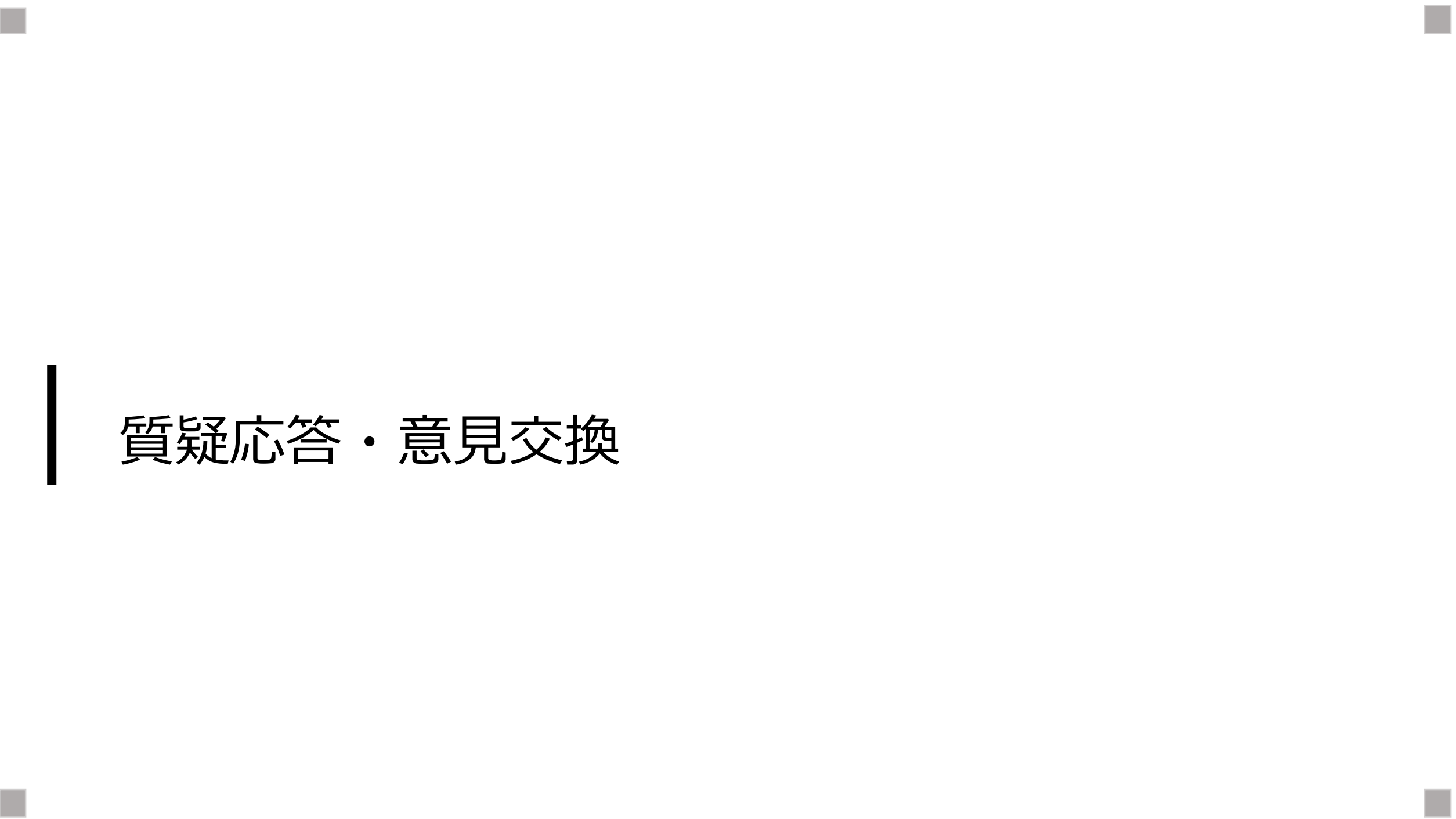
- 参考になった
- 大変参考になった

瑞穂町サイバーセキュリティ 研修アンケート結果（2）



- 分かりやすかった
- とても分かりやすかった





質疑応答・意見交換